

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

たまプラーザ地域ケアプラザ

■ 事業報告

事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- ・ 当施設は、たまプラーザ駅直結と利便性が良い事から、市内外の利用者も多く来館されています。
- ・ 美しが丘地区は地域住民が、自分流の地域活動に参加をして地域づくりに参加したいという意識が高く、経済的に恵まれた方の多い地域であるが一方、家庭内崩壊、引きこもり問題など外には見えにくい閉ざされた個別課題もある地域です。また、高齢化率の高い場所や、ご近所と関わりのない高齢者が多く住む集合住宅では、見守りなど多くの問題を抱えています。
- ・ 山内地区は古くから地域に住んでいる方が多く住民の繋がりが出来ており、お囃子や神社など古くからある文化を伝承しながら生活する地縁の濃い地域です。古くから住んでいる住民が主体となって、自治会等の地域活動を積極的に行っています。
- ・ 課題は、高齢者虐待、緊急対応、精神疾患、多問題家族など多様なケースが多く発生しており、ケースが重くなってから相談に繋がる事も多く、関係機関との連携や支援者としても高いスキルが求められています。
- ・ 障がい者の支援施設や団体が少ないエリアで、障がい児・者支援も必要な地域です。
- ・ オレオレ詐欺や消費者被害が後を絶たない状況で、警察や自治会、民生委員などと地域と協力して防止に向けた取り組みが必要です。

(2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・ ケアプラザの立地からエリア外住民の相談や、他区や他市県の相談者が来所される事が多く、エリアにこだわらずに相談や支援を行って、必要に応じて担当エリアの地域包括支援センターなどに情報提供を行いました。
- ・ 寄せられる相談に関してはワンストップ窓口として地域の方に安心してもらえるよう心掛け、分野外の相談に関しても専門機関等に問合せをして適正に引き継ぎました。
- ・ 障がい児者、こども分野については、区役所や地域活動団体と連携をとりながらお互いの活動を広報紙等でPRをし、また地域活動団体の活動内容を理解してもらえるよう、青葉区社協「ガイドボランティア養成講座」やラフル「横浜子育てサポートシステム説明会」など、ケアプラザとの共催事業を開催し、相談機関へ繋がるきっかけ作りを行いました。また、エリア会議等での情報交換やケアプラザへの要望などの収集を行っています。
- ・ 情報提供としてチラシをケアプラザ内に、高齢者・子育て関係・地域活動団体・地域情報等と分かりやすく配置し、来場者には積極的に話しかけて事業案内を行い、相談等や支援が必要なケースは直ぐに地域包括支援センター等に情報提供し支援に繋がっています。
- ・ 地域包括支援センターにおいては、相談業務などでは利用者のニーズを深く理解する事に努め、その上でサービス利用の情報提供が必要な時は、必ず選択出来る

提案を行って中立性を確保しました。

(3) 各事業の連携

- ・ 地域支援や自主事業について、生活支援コーディネーターを含めた5職種連携が出来るよう定期的に会議等を行って連携を深めています。
- ・ 地域活動交流部門に寄せられる個別ニーズ（相談）については、速やかに地域包括支援センターに繋げることで連携を図っています。また、地域でのニーズや、来館者の様子等も適切に情報を繋げ、連携する事でケアプラザの機能の充足を図っています。
- ・ 地域交流部門も包括カンファの二部に参加して連携を図り、ケアプラザとしての業務の連携、地域との関わりや連携を意識し、情報共有を図る取り組みを行っています。
- ・ 会議や研修に参加できない職員には、報告書や議事録を回覧して情報を共有しています。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 職員の中から研修委員を選出して、年間に行なうべき必須研修計画を立て実施しました。
- ・ OJTの職員研修はケアプラザ内部と法人全体で行っており、職員育成に向けた取り組みを継続して実施しました。また、資格更新やキャリアパスにつながる研修については勤務扱いとし、研修費用や交通費を負担して参加者の負担軽減を図りました。
- ・ 地域包括支援センターは、総合相談業務などで利用者のニーズを深く理解する事に努め、その上でサービス利用の情報提供が必要な時は、利用者が選択できるような提案を行い、公平・中立性の確保に努めました。
- ・ ケアプラザの貸館については、施設利用マニュアルを守り、透明感のある施設管理を継続して行いました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 地域の協力員である自治会や民生委員等の定例会に参加して関係を維持し、地域ケア会議の開催、高齢者や障がい者の支援等を積極的に行いました。また、地域住民の自立した生活を地域の方と共に支えられるように幅広いネットワークを構築につとめました。
- ・ 地域のニーズを探るため自治会や老人会等にも毎月参加し、顔見知りの関係を構築して意見の出やすい関係作りをしました。
- ・ 地域包括ケアシステムの推進を推進できるよう、青葉区医師会で取り組んでいる青葉区医療・介護連携や、災害時地域医療検討会、次世代郊外まちづくり等と連携しました。
- ・ 幅広いネットワークを維持できるよう、二つの地域で行う防犯パトロール・商店会活動・地域内でのまつり・防災訓練・学校や地域で行う運動会など地域行事に積極的に参加しました。

(6) 区行政との協働

- ・ 「どにち☆ひろば」の継続的な開催を青葉区こども家庭支援課と行っています。
- ・ 「寄り添い型学習支援」で毎週木曜日に施設を開放して、協力を行っています。
- ・ 「ニコニコピカピカ歯みがき教室」も毎年行っています。
- ・ 「あおばdeスタートセミナー」でも会場や講師などで協力しました。
- ・ 山内地区・美しが丘地区チーム会議に地区サポートチーム職員として参加しています。
- ・ 「次世代郊外まちづくり」活動にも協力しており、定期会議やイベント等で協力しています。
- ・ 行政各機関等からの視察依頼や、事業見学等の受け入れ等の対応を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

① 高齢者関係

- ・ 一人暮らし高齢者の孤食問題を解決するために、地域のボランティアと夕食会を開催して、高齢者が気軽に集える支援を行い、自主化に繋がりました。
- ・ 健康意識の高い地域である事から運動系事業を毎月開催し多くの方に参加して頂いた。そこで運動習慣の習得、運動のきっかけ作り、運動の継続を講座の中で説明し、介護予防に向けた取り組みを行いました。
- ・ 60歳以上の男性を対象とした料理教室を開催、終了後にケアプラザでのボランティア活動を目指して自主サークル化し、運営の支援を行っています。
- ・ 高齢者の生きがい作りとして事業も数多く開催し、希望者には地域ケアプラザの福祉保健活動団体の活動を紹介して繋げ、また活動団体のPRやメンバー募集の掲示板を作成して、希望者が活動しやすい環境の整備を継続して行いました。
- ・ 事業後にアンケートを取っている中で、歌の会の希望が多い事から事業を定期的で開催して利用者のニーズに応えています。
- ・ 新オレンジプランにもとづき認知症カフェを地域包括や居宅介護支援事業と毎月開催しており、毎回40名前後の参加者が外出機会、交流の場として定着し、認知症高齢者の居場所や介護者支援に繋がっています。

② 子育て関係

- ・ 子どもの居場所づくりとして「子ども食堂」を地域の関係団体のボランティアと一緒に開催し、食事提供や、学習支援などから、学校や家庭に馴染めない子どもや親の支援を行い、自主化に繋がりました。
- ・ 子育て中の母親の健康づくりなどにも注目し、親子で楽しめるリトミックを開催して、仲間作りや身体を使ってリフレッシュできる企画を実施しました。
- ・ 子育て世代も参加して楽しめるよう音楽イベントや食事会などの企画も行い、多世代交流に繋がっています。
- ・ 子育て中の母親が事業に参加できる環境作りのため、「子育て応援ぼらんていあ」の養成講座を行いました。
- ・ 父親育児支援講座の開催し、父親の仲間作りや育児世代の男性の来館を促しました。
- ・ 火・木曜日に開催している「おやこあそび場」は、子育て中の方が安心出来る場所として、また、情報交換の場として継続し、ボランティアの活用等も積極的に行っています。
- ・ 夏休みの小学生向け手芸教室、親子で楽しめるランチカフェや歌の会等で多世代交流が出来る企画も行っています。

③ 障がい児・者関係

- ・ 障がい児を対象にした「おもちゃのひろば@たまプラーザ地域ケアプラザ」を、あおばおもちゃのひろばと共催し、障がい児の親の居場所や輪づくりを毎月実施しました。
- ・ 精神的な問題を抱えた人の集える場として「ほっとおしゃべり会」を、ほっとサロン青葉との共催で定期的を開催しました。
- ・ 発達障害児の親子への理解と支援者とのより良いコミュニケーションを図るための事業を NPO 法人ではで神奈川と共催し、養護学校や小学校等と連携しました。

④ その他

- ・ 地域ニーズから認知症や、引きこもりの方が集える場所作りとして「認知症カフェ」や中途障がい者のための「麻雀の会」を継続開催し、ボランティアを中心に開催する事で地域住民が力を発揮しインフォーマルサービスとして今後の大きな展開に結び付けるよう支援しました。
- ・ 地域のボランティアを中心にニーズの高かった「囲碁将棋の会」を毎月開催し、地域の方の居場所作りや多世代交流の場としても機能するよう支援しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 福祉保健活動団体が活動しやすいように、各団体の利用頻度や傾向を把握して調整を行い、定期利用が望ましい団体については年間で会場利用が出来るように予定を組んで支障がないよう調整しました。
- ・ 登録団体数が多い事から活動団体が希望する部屋の予約が重なり、抽選で外れた団体をフォローするために、希望する日時に活動が出来るよう、第三希望まで部屋を選択して頂き、抽選で外れた場合も可能な限り活動が出来る配慮を行い、利用者本位の視点で対応しました。
- ・ 利用団体の代表者会議を開催し、適正な施設利用の案内や団体からの要望等を把握し、活動団体が公平に利用出来るような取組を続けています。
- ・ 自主企画(自主事業)から、自主化した福祉保健活動団体が日頃の活動に困らないよう団体の区分けを福祉保健活動団体(団体Ⅰ)に位置づけており、活動がスムーズに出来るように支援を行いました。
- ・ 登録した福祉保健活動団体は地域ケアプラザ祭りに積極的に参加してもらい、楽器演奏・歌・作品展示等でボランティア活動を行って頂きました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティア登録をされた方が活動して頂けるように自主事業等へ参加協力を依頼して場の提供を行いました。
- ・ 認知症や引きこもりの居場所づくりとして「プラぶらっとカフェ」、「プラぶらじゃん雀」を継続しており、地域のボランティアの方の協力により、運営を行いました。
- ・ ボランティアが中心に自主活動している、こども食堂「たまプラごはん」、高齢者の孤食防止「たまコネ食堂」、癌患者と遺族などの会「たまプラザーがん哲学外来カフェ」が毎月ケアプラザで活動できるように安定した運営支援をしました。
- ・ ケアプラザと一緒に地域のボランティア活動を推進する団体「ぷらボラ」により、福祉保健協力団体が行うボランティア活動をコーディネートし、ケアプラザの事業や地域の学校や施設などでボランティアが出来るように支援を行いました。
- ・ ボランティア希望者が多い地域であり、自主事業の他、地域のボランティア団体などを紹介し、様々な活動に繋げました。
- ・ 地域の登録団体がボランティアとして高齢者や子育て世代の外出機会、多世代交流となるよう、食事や楽器演奏を楽しむカフェを年3回安定して開催できるよう支援しました。
- ・ 福祉保健協力団体（団体Ⅱ）のボランティア活動の場とし、夏休みの子ども向けワークショップを開催し、障がい者団体への講師依頼から地域の保育園での講師へと繋ぐことができました。
- ・ 事業終了後のアンケートでも地域ニーズの高い、保育付き事業開催への準備として「子育て応援ぼらんていあ」養成講座を開催し、毎週二回定期開催している「おやこあそび場」での研修を継続できるよう支援しました。
- ・ 地域の読み聞かせ団体との共催事業をきっかけに、次世代の読み手育成へと繋がり、安定した運営となるよう支援しました。
- ・ 「おやこあそび場」で活動するボランティア団体を、福祉保健協力団体（団体Ⅱ）のイベントへとコーディネートしました。
- ・ 「よこはまイキイキポイント」のボランティア登録者が活動出来るよう、ポイントリーダー設置の指定を受けており、登録案内を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 奇数月に発行している広報紙「プラぶら通信」、その他「各種事業チラシ」等で地域向けに情報発信をし、館内でも「ボランティア活動の案内」や、福祉保健協力団体のメンバー募集案内等による活動に繋がる情報発信を行いました。
- ・ ホームページやブログなどを活用して、地域住民に向けた情報発信を行い、地域ケアプラザの事業案内や活動報告などにも活用しました。
- ・ 住民から福祉保健活動に関する問い合わせや、サークル活動への参加希望などがあった場合には、会の内容や活動日時などの情報提供を行って見学等に繋げ、希望者が活動を継続できるような支援を行いました。
- ・ これまでに関係構築をしてきた地域の関係団体（連合自治会・単位自治会・地区社協・老人会・民生児童委員・保健活動推進員・地区民児協・圏域内の小中学校・地区保健活動推進員会・家防災・防犯パトロール・圏域内の4小学校のはまっこ・地域ケアプラザの登録団体等）と多岐にわたり、定例会等への参加を通して情報交換をしました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 地域アセスメントや来館者のニーズを基に、地理や交通の困難さがあり既存のサロンなどに出かけられない人等を対象に、新石川エリアでサロンを開催しました。
- ・ 自治会、民生委員、地区社協などから情報を集め適切な事業行いました。
- ・ 転倒予防医学研究会が平成30年4月から横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（通所型サービスB）を実施できるよう、申請書類作成支援、プログラム内容等の支援を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 地域の様々な集まりに参加しながら地域住民の生活上の困りごとやニーズの把握に努めました。
- ・ 地域ケアプラザの講座や事業ではアンケートを実施し、事業を進めていく根拠として結果の可視化をし、地域の方々の説明にも活用しました。
- ・ 担当地域の住民活動・NPO・企業などに積極的に出かけて行き資源の把握と掘り起こしを行いました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地域包括支援センターの事業、地域活動交流コーディネーターによる自主事業に協力しました。地区アセスメント・企画の段階から話し合いに加わり様々な視点からよりよい事業の開催をめざしました
- ・ 地域包括支援センターと連携し、総合相談の内容や個別相談から抽出した課題を地域の課題としてとらえ共に解決に努めました。既存の話し合いの場も積極的に活用しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 平成28年度作成したサービスリストをさらに充実させていきます。担当エリアの情報だけでなく住民の方々の活動区域を考慮し広域のケアプラザと地域資源を共有しました。
- ・ 近隣のケアプラザと協力しマップの制作に取り組みました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 地域の総合相談窓口として、広く地域に周知されるよう、関係各機関とネットワーク作りを継続して行いました。
- ・ 具体的には、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、各自治会、老人会、ボランティア団体等との交流や各種会合へ参加や、医療機関へ広報誌を配布し、地域包括支援センターのPRを行いました。また、支援を必要とする人の把握し、適切な支援や見守りが出来るよう取り組みました。
- ・ 医療機関へ広報誌を配ることで、医療機関との連携・ネットワーク構築を図った。

- ・平成29年度の総合相談件数は、月間平均130件、そのうち電話での相談が80件程度を占めました。時間帯は、日中の相談が大半でしたが、3件/月は夜間帯でした。
- ・相談内容は介護保険未認定の方の相談が最も多く、その次に要介護認定者、要支援認定者の相談を家族から受けました。相談内容は介護保険の相談が半数を占めていました。

② 実態把握

- ・総合相談支援業務を適切に行う前提として、ネットワークを活用する他、様々な社会資源との連携、高齢者世帯への戸別訪問、同居していない家族や近隣住民からの情報収集等により、高齢者の心身の状況や家族の状況等についての実態把握を行いました。
- ・民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、各自治会、老人会、ボランティア団体等との交流や各種会合へ参加や、医療機関へ広報誌を配布し、地域包括支援センターのPRを行いました。

③ 総合相談支援

- ・地域包括支援センターのリーフレット（顔写真入り）を作成し、老人会、介護予防事業、出前講座等で配布し、周知に取り組みました。
- ・地域ケアプラザの立地からエリア外住民の相談や、他区や他市県の相談者が来所される事も多いため、エリア外の相談については、担当の地域包括支援センターへ速やかにつなげ、住み慣れた地域で安心して生活できるように支援しました。
- ・分野外の相談に関しては専門機関等を調べ、必要な支援が継続できるようにコーディネートしました。
- ・障がい者の方については、区役所や地域活動団体（基幹相談支援センター・ほっと青葉・ラフル・NPO等）と連携をとりながら必要な支援が受けられるようにしました。
- ・総合相談の来館者が様々な講座やイベント、地域情報等に興味を持てるよう、分かりやすく掲示し、ラックに配架するなどして、工夫しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・定期的に顔を出しているサロンや老人会など、また認知症カフェを通じて参加するボランティアからも振り込め詐欺防止の説明を行い、被害防止の啓発活動の実施をしました。
- ・インフォーマルサービス、介護保険サービス、遺言相続等各種制度理解普及啓発の為、専門職に協力要請をして、年6回シリーズ形式で福祉講話を開催しました。

② 高齢者虐待への対応

- ・山内地区センターで地域の高齢者に対して寸劇を行い、高齢者虐待防止の啓発活動を行いました。
- ・虐待事例については、介護サービス事業所等から通報があった際は、速やかに区と情報交換、関係者間によるネットワークミーティングを開催し、タイムリーな対応・支援を行いました。

③ 認知症

- ・ 新オレンジプランに基づき、認知症サポーター講座を年間4回開催し、商業施設、信託銀行、中学生に向けて行いました。地域のキャラバンメイトにも講座の開催協力を依頼し講座を開催しました。
- ・ 認知症カフェ開催時の時間帯に合わせて、カフェに参加している介護者等が参加できるよう、茶話室を介護者のつどいとして開催し、介護者が専門職とも相談できる場を用意しました。
- ・ 受診につながらない認知症高齢者に対して、もの忘れ相談等を利用し、専門職の助言を得ながら、継続的に支援をしました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 地域の独居で認知症の有る方の支援を考える場として個別の地域ケア会議を開催しました。地域住民や関係事業者、民生委員等に参加して頂き、日頃の連携や今後の支援を話し合うことが出来ました。
- ・ 関係機関との連携推進として青葉ふれあい見守り事業山内連絡会や、(株)ゆい青葉の地域密着サービス事業者運営推進会議などへ参加し、連携を深めました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 包括カンファレンスにて地域のケアマネ向けに整形外科の理学療法士による自立支援につながるリハビリとプランの考え方、また訪問看護ステーションの看護師によるターミナルケアのプランについて勉強会を行いました。青葉区医師会居宅支援事業者や他居宅介護支援事業所と共に事例検討会を行いました。
- ・ 包括エリア内の医療機関や薬局などに定期的にケアプラザの広報誌や地域包括支援センターの案内等を配布するなどして地域ケアプラザの役割についての周知を図りました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ 毎月行っている居宅介護支援事業者向け包括カンファレンスの中で情報提供や各研修、意見交換会を実施しており、平成29年度は区の生活支援担当による生活保護と自立支援についての勉強会、また地域の主任ケアマネによる事例勉強会などを行い、様々なケースへの対応を考える機会としました。また必要に応じて支援困難ケースの担当者会議等に随時参加しました。
- ・ 区のケアマネジャー連絡会と連携し各講習等で医師や看護師、薬剤師との協力体制が築けるように関係作りを行いました。
- ・ 平成29年度前期・後期共に新任ケアマネジャーの個別支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域ケア会議や包括カンファレンスの開催を通じて地域支援ネットワークの構築や包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の課題・整理しました。地域の課題解決を図る手段としての地域ケア会議の実施を行い、地域の持つ相互自助の活用構築や包括や支援事業者との綿密な連携等が図れるように多職種協働・連携方法について検討していきました。

- ・ 包括カンファレンスの実施は引き続き青葉区役所地区担当と包括、ケアプラザの5職種での連携で情報を共有し連携・協働を行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 介護予防および日常生活支援を目的とし、心身の状況、置かれている環境やその他の状況に応じてサービスを提供しました。具体的には、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス、青葉区の独自施策、民間企業により提供される生活支援サービスを含め、要支援者等の状況に応じたサービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう支援しました。
- ・ 介護予防ケアマネジメントについては、適切なアセスメントの実施により、利用者の状況を踏まえた目標志向型の目標設定をし、利用者自身が目標の達成に向けて取り組んでいけるよう、介護予防ケアプランを作成しました。
- ・ 介護予防支援研修を開催し、日常生活総合支援事業開始に繋げられるよう、インフォーマルサービスを活用した目標管理に基づいた自立支援ケアプラン作成や、ケアマネジメント手順の確認を行い、ケアマネジメント力の向上を図りました。
- ・ ケアマネジャーと連携し、サービス担当者会議等に極力参加するようにし、適切なケアマネジメントが行われるよう支援しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 平成26年度に「たまぷらさくら会」「SUNサロン元気塾」「輝く元輝体操」が元気づくりステーションとしてスタートして以来、自主的活動の支援を継続していました。「たまぷらさくら会」では、平成29年度は区役所と連携し「地域リハビリテーション活動支援事業」の一環として作業療法士による活動の効果的な継続のための評価と提案を実施しました。参加者の興味や関心毎を調査し今後の活動をより良いものになるよう支援を継続しました。
- ・ 新石川地区での介護予防事業の展開については、自治会、山内地区東保健活動推進員や山内地区の民生委員の協力を得ながら宮元自治会館にて「元気塾」を毎月開催しました。
- ・ 認知症予防に関しては、ウォーキング事業や出張講座での啓蒙活動を継続しています。また、平成29年度1月から5回シリーズで認知症予防・外出の機会・交流の場として数独クラブを開催しました。
- ・ ロコモ予防に関しては、ロコモティブシンドロームの三大要因について、理学療法士による講座年8回開催しました。

5 その他

- ・ 地域交流、居宅介護支援とともに、認知症カフェを毎月開催し、ボランティアの協力を得ながら多くの住民が利用して頂きました。
- ・ 地域交流と共同で障害や認知症で引きこもりがちの方が麻雀をツールとし外出の機会を提供する事業である「ぷらぷらじゃん雀」を継続して開催しています。麻雀ボランティアの協力も得られ、引きこもりがちの方の外出機会やつどいの場となりました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 毎日施設内の自主検査や点検など安全確認チェックを行い、設備の保全管理や防犯に努めました。
- ・ 貸出備品に関しては毎回、数や破損などの確認をして適正な備品管理を行いました。
- ・ 全ての職員は五つの委員会活動（安全管理・研修学習・エコ・お祭り・親睦会）をしており、各委員会活動を通して職場や施設の維持管理に努め、活動については毎月報告や検討をしました。
- ・ 施設内に「ご意見箱」を設置し、利用者からの改善要望等が上がった場合には、情報を共有し、出来る限り速やかに改善を図りました。
- ・ 備品の紛失や破損がある事から、点検票でのチェックや、ポスターで予防対策をとりました。
- ・ 環境管理として、定期的に水質点検や害虫駆除点検を行い、月に一度空間汚染点検を行っています。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 毎月「地域ケアプラザ事業予定」を、各月で「プラぶら通信」広報誌を作成して、自治会、民生委員、老人会、郵便局、交番、東急インフォメーション等に配り、新しい利用者や、事業等への参加者を増やす取組を継続しています。
- ・ ホームページやブログを活用して地域ケアプラザの事業予定や、開催内容を紹介する等して、地域住民が利用しやすいように工夫しました。
- ・ 地域の連絡会や定例会に出向く機会を多く持って施設や事業のPRを行い、地域の回覧や掲示板なども活用して地域ケアプラザの活動を幅広く広報し、事業への参加者が増えました。
- ・ 職員間の連携をとる為に毎月、職員会議や各部署のミーティングを行い、事業計画や事業評価、情報共有などを効果的に実施しました。
- ・ イベントや教室を開催した時は終了後にアンケートを取り、事業の評価やニーズの把握を行い次の事業に繋げています。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情については責任者が速やかに対応をするとともに、再発防止についての検討をし、また苦情については法人内の第三者委員会に掛けて第三者委員の意見を反映させて再発防止や、透明性のある施設運営を行いました。
- ・ 施設内に「ご意見箱」を設置して、来場者からの苦情や、運営に関する意見等を集めやすいようにし、集まった意見に対しては職員間で改善策を検討しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 火の元や戸締りなど自主検査や点検を目的に安全確認チェックを毎日行い、設備保全管理や防犯に努めました。
- ・ 会場利用団体や、事業に参加している方には災害時の注意事項（避難口案内・安全確保・避難誘導）の説明を行って、迅速に避難誘導が出来るように努めました。
- ・ 災害時における特別避難場所として機能できるよう、区と「災害時等における施設利用の協力に関する協定」の締結を行い、また災害備蓄品の管理（増減）も適正に行いました。
- ・ 利用者の往来が多く安全確保の為に警備会社と契約をし、24時間警備の体制を整えています。
- ・ 東急の消防避難訓練に年2回参加し、消防法を順守した運営を行いました。
- ・ 自衛消防隊を結成して、定期的な消防訓練に参加し、事務所内にも役割が一目で分かるよう組織図や緊急時連絡先を張り付ける等の対応を図っています。また、大規模災害が夜間や休日に発生した場合を想定して連絡網を作成し、緊急時用としても備え付けて有事に備えました。
- ・ 緊急時対応マニュアルを作成し、また直ぐに対応出来るようにフローチャートも作成して誰でも直ぐに見られる場所に置いて有事に備えました。
- ・ 来館者が多い地域ケアプラザのため不審者の侵入を未然に防げるよう、挨拶等をして職員の積極的な声掛けを行い、事故を未然に防止する取組も行いました。
- ・ 定期的に地域の防犯パトロールに参加し、防犯の抑制と地域住民や警察との連携を図っています。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 毎日、施設内点検チェック項目をシートにて管理し、保全管理に努めました。
- ・ 安全管理委員会を選出し、緊急や事故発生時の対策、事故防止に向けた研修、マニュアルの修正をしています。
- ・ 事故を四つに分類（貸館事故、自主事業中の事故、居宅介護支援事業や地域包括支援センター訪問時の事故、感染症発生時の事故）したフローチャートを作成して、誰もが目につく場所に吊して有事に備えました。
- ・ ヒヤリハット報告も毎月行って事故再発防止に努め、安全対策につながる業務改善等を継続しています。
- ・ 子どもが多く利用するプラザルームの安全性を高め、事故を予防する為にハード面やソフト面での見直しを行い、安心安全に施設を利用出来る環境整備をしています。特に、登録団体が部屋を利用した後のマット消毒清掃とおもちゃの消毒を徹底し、付添いの保護者への利用時の安全に関する注意喚起も促しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報のファイルや申込み書類は鍵の掛かる棚に保管していますが、全てではないため、平成30年度改善に向けて取り組みます。
- ・ 個人情報が入力されている個人のノートパソコンを盗難から防止や、個人でパソコンを持ち出せないようにワイヤーロックで固定し安全を確保しました。
- ・ 個人情報をメモリースティックなど記録媒体に落とし込み、外に持ち出す事を禁止しています。
- ・ ファックスなどを送る時や、郵便物送る場合は二重チェックとし、他の職員にも声を掛けて確認作業をして誤送信・誤配送を防止しています。
- ・ 個人情報研修を行い、個人情報チェックシートなどを利用して業務の見直しを行っています。

(7) 情報公開への取組について

- ・ ホームページを毎月更新し、ブログも立ち上げて広く情報発信を行いました。
- ・ 法人の運営状況等資料はホームページで閲覧可能にし、管内掲示して情報公開に努めています。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 人権擁護員の方を招き法人に所属する職員を対象に人権研修を1回実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ ゴミ排出量削減（G30）推進の為に館内にゴミ箱は設置無く、利用者にゴミの持ち帰りの協力を呼びかけて、市民へのゴミ削減意識の向上に繋げました。
- ・ 事業系ゴミに関しては適正なゴミ回収を行ってマニフェストを管理し、事業で発生したダンボール、シュレッター紙屑はリサイクルとして分別し処理しています。
- ・ エネルギー削減対策として館内に節電や節水の貼り紙をし、職員の中からもエコ委員選出して水道光熱費の状況報告や節電などの呼びかけからエコ活動の意識向上も行いました。
- ・ 「空調機フロン排出抑制法」に基づいたフロン漏えい防止に向けても、点検委託事業者に追加点検を契約事項に加え適切に管理しています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

1. 職員体制

主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、保健師1名、予防支援プランナー1名

2. 目標・実績

- ・ 継続して利用者がなるべく自立した日常生活を送られるよう、必要な介護予防サービス・インフォーマルサービスの効果的な利用などを支援しました。
- ・ 当該地域ケアプラザでのインフォーマルサービスについては、認知症カフェや、元気づくりステーション、日常の通いの場としての麻雀の会などいずれも順調な利用がありました。
- ・ 委託先の居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの連携やケースに対しての助言や後方支援を積極的に行うとともに、委託担当者会議へ可能な限り出席しました。

《目標に対する成果等》

- ・ 介護予防および日常生活支援を目的とし、心身の状況、置かれている環境やその他の状況に応じて、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス、青葉区の独自施策、民間企業により提供される生活支援サービスを含め、要支援者等の状況に応じたサービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう支援しました。
- ・ 介護予防ケアマネジメントについては、適切なアセスメントの実施により、利用者の状況を踏まえた目標志向型の目標設定をし、利用者自身が目標の達成に向けて取り組んでいけるよう、介護予防ケアプランを作成しました。
- ・ 介護予防支援研修を開催し、日常生活総合支援事業開始に繋がられるよう、インフォーマルサービスを活用した目標管理に基づいた自立支援ケアプランを学んだ。インフォーマルサービスの共有や、ケアマネジメント手順の確認を行い、ケアマネジメント力のレベルアップを図りました。
- ・ ケアマネジャーと連携し、サービス担当者会議等に極力参加するようにし、適切なケアマネジメントが行われるよう支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》



《その他（特徴的な取組、PR等）》

【利用者実績】【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
168	166	167	169	173	173
10月	11月	12月	1月	2月	3月
178	184	184	182	173	171

●居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤兼務 2人、常勤兼務1人

《目標に対する成果等》

- ・ 自立支援の視点に立ったケアマネジメントを行い、ご利用者の望む生活の実現を目指したケアマネジメントを行いました。
- ・ 自己学習、内部、外部の研修には積極的に参加し、ケアマネジャーとして資質の維持・向上に努めました。
- ・ ケアマネジャーとしての視点から地域ニーズを抽出し、ケアプラザで行う介護予防・自立支援に向けた事業の企画にも積極的に取り組んでいます。
- ・ ケアプラザ内にある事業所なので、地域包括支援センターと連携をとりながら困難事例を積極的に受け入れています。
- ・ 居宅介護支援職員間の連携から、担当件数の上限数を常に達成できるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

-
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
92	82	83	86	80	79
10月	11月	12月	1月	2月	3月
77	77	84	80	83	77

平成29年度「たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,065,000	△ 456,081	17,608,919	17,608,919	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	124,379	△ 124,379	自主事業収入
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	256,287	△ 256,287	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	53,971	△ 53,971	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	202,316	△ 202,316	この列は入力しない
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	4,784,000		4,784,000	4,784,000	0	
収入合計	22,849,000	△ 456,081	22,392,919	22,773,585	△ 380,666	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	15,055,000	0	15,055,000	9,452,421	5,602,579	
本俸	10,000,000		10,000,000	6,315,265	3,684,735	
社会保険料	1,800,000		1,800,000	993,036	806,964	
手当計	3,055,000		3,055,000	2,015,368	1,039,632	超過勤務、期末手当、通勤手当他
健康診断費	30,000		30,000	37,777	△ 7,777	
勤労者福祉共済掛金	20,000		20,000	18,750	1,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	72,225	77,775	
その他			0	0	0	
事務費	1,515,000	0	1,515,000	1,159,135	355,865	
旅費	20,000		20,000	9,194	10,806	
消耗品費	250,000		250,000	121,103	128,897	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	100,000		100,000	87,269	12,731	
通信費	360,000		360,000	322,845	37,155	
使用料及び賃借料	0	0	0	107,314	△ 107,314	
横浜市への支払分			0	15,168	△ 15,168	
その他	0		0	92,146	△ 92,146	
備品購入費	300,000		300,000	144,504	155,496	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	75,000		75,000	71,100	3,900	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	20,000		20,000	20,009	△ 9	
リース料	200,000		200,000	154,088	45,912	
手数料			0	0	0	
地域協力費	150,000		150,000	121,709	28,291	
その他	40,000		40,000	0	40,000	
事業費	602,000	0	602,000	403,161	198,839	
運営協議会経費	42,000		42,000	4,200	37,800	予算-指定額
指定管理料充当 事業	560,000		560,000	398,961	161,039	
管理費	4,472,600	0	4,472,600	4,388,991	1,256,887	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	1,068,000	0	1,068,000	1,173,278	1,068,000	
電気料金	735,000		735,000		735,000	
ガス料金	23,000		23,000		23,000	
水道料金	310,000		310,000		310,000	
清掃費	1,000,000		1,000,000	1,187,655	△ 187,655	
修繕費	474,000	0	474,000	17,919	456,081	予算-指定額
機械整備費	100,000		100,000	112,623	△ 12,623	
設備保全費	1,795,600	0	1,795,600	1,862,535	△ 66,935	
空調衛生設備保守	1,735,600		1,735,600	1,801,958	△ 66,358	
消防設備保守	35,000		35,000	34,981	19	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	25,000		25,000	25,596	△ 596	
雑費			0	0	0	
その他	35,000		35,000	34,981	19	
公租公課	1,204,400	0	1,204,400	756,193	448,207	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	1,204,400		1,204,400	756,193	448,207	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一三対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	22,849,000	0	22,849,000	16,159,901	7,862,377	
差引	0	△ 456,081	△ 456,081	6,613,684	△ 8,243,043	

自主事業費収入	560,000		560,000	0	560,000	予算-指定管理料に含む
自主事業費支出	560,000		560,000	398,961	161,039	
自主事業収支	0	0	0	△ 398,961	398,961	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	53,971	△ 53,971	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	15,168	△ 15,168	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	38,803	△ 38,803	

平成29年度「たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	20,958,620	△ 394,239	20,564,381	20,564,381	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	100,000		100,000	100,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,316,658	4,472,342	4,472,342	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	15,000	△ 15,000	事業参加費収入
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	68,127	△ 68,127	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	14,347	△ 14,347	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	53,780	△ 53,780	コピー代
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	26,847,620	△ 1,710,897	25,136,723	25,219,850	△ 83,127	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,789,700	0	23,789,700	22,072,071	1,717,629	
本俸	13,500,000		13,500,000	12,275,830	1,224,170	
社会保険料	3,200,000		3,200,000	2,780,417	419,583	
手当計	6,700,000		6,700,000	6,639,351	60,649	超過勤務、期末手当、通勤手当他
健康診断費	40,000		40,000	38,748	1,252	
勤労者福祉共済掛金	25,000		25,000	20,250	4,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	324,700		324,700	317,475	7,225	
その他			0	0	0	
事務費	780,000	0	780,000	926,134	△ 146,134	
旅費	90,000		90,000	98,410	△ 8,410	
消耗品費	150,000		150,000	148,848	1,152	
会議贈い費	1,000		1,000	770	230	
印刷製本費	80,000		80,000	88,650	△ 8,650	
通信費	300,000		300,000	409,793	△ 109,793	
使用料及び賃借料	22,000	0	22,000	28,526	△ 6,526	
横浜市への支払分	4,000		4,000	4,032	△ 32	
その他	18,000		18,000	24,494	△ 6,494	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	18,000		18,000	18,900	△ 900	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	20,000		20,000	20,513	△ 513	
リース料	40,000		40,000	40,960	△ 960	
手数料			0	0	0	
地域協力費	30,000		30,000	32,352	△ 2,352	
その他	29,000		29,000	38,412	△ 9,412	
事業費	1,089,000	0	1,089,000	529,928	559,072	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	50,000		50,000	15,494	34,506	
指定管理料充当事業(介護予防)	100,000		100,000	141,257	△ 41,257	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	16,177	292,823	予算:指定額
管理費	1,188,920	0	1,188,920	1,166,690	334,113	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	261,000	0	261,000	311,883	261,000	
電気料金	180,000		180,000		180,000	
ガス料金	6,000		6,000		6,000	
水道料金	75,000		75,000		75,000	
清掃費	300,000		300,000	315,705	△ 15,705	
修繕費	126,000		126,000	4,761	121,239	予算:指定額
機械整備費	30,000		30,000	29,937	63	
設備保全費	468,000	0	468,000	495,105	△ 27,105	
空調衛生設備保守	450,000		450,000	479,002	△ 29,002	
消防設備保守	10,000		10,000	9,299	701	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	8,000		8,000	6,804	1,196	
共益費			0	0	0	
その他	3,920		3,920	9,299	△ 5,379	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	26,847,620	0	26,847,620	24,694,823	2,464,680	
差引	0	△ 1,710,897	△ 1,710,897	525,027	△ 2,547,807	

自主事業費収入	459,000			15,000		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	459,000			172,928		
自主事業収支	0			△ 157,928		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0			14,347		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0			4,032		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			10,315		

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **たまプラーザ地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
身体の事を学んで体操	地域住民		地活	20000	0	0	10000	0	0
	104		包括				×2回		
	0	20000	生活				20000		
「たまコネ食堂部」の支援	一人暮らしの高齢者		地活	0	500	0	0	125500	ボランティア 団体が予算 を管理。
	251		包括		×251名		食材費		
	500	125500	生活		125500				
昭和・平成の歌謡	地域住民		地活	0	0	0	0	0	0
	287		包括						
	0	0	生活						
プラぶらじゃん雀	中途障がい・認知症の方		地活	0	0	0	0	0	0
	433		包括						
	0	0	生活						
運動初心者トライコース	地域住民		地活	36000	0	0	3000	0	0
	163		包括				×12回		
	0	36000	生活				36000		
和み語り	地域住民		地活	8000	0	0	2000	0	0
	113		包括				×4回		
	0	8000	生活				8000		
おもちゃのひろば @たまプラーザ	障がい児の親子		地活	24000	0	0	2000	0	0
	262		包括				×12回		
	0	24000	生活				24000		
みんなで歌を歌う会 「たんぽぽ」	地域住民		地活	8000	0	0	2000	0	0
	251		包括				×4回		
	0	8000	生活				8000		
プラぶらっとカフェ	認知症の方・支援者		地活	0	60799	0	0	57627	0
	646		包括						
	100	57627	生活						
夜のリラックスヨガ /誰でもヨーガ	地域住民		地活	18000	0	0	2000		
	115		包括				×9回		
	0	18000	生活				18000		
おはなしごっこ	未就学児の親子		地活	10000	0	0	5000	0	0
	390		包括				×2回		
	0	10000	生活				10000		
ほっとおしゃべり会	不安をお持ちの方		地活	0	0	0	0	0	0
	32		包括						
	0	0	生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **たまプラーザ地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
「がん哲学外来カフェ」の支援	地域住民		地活	0	300	0	0	40200	ボランティア団体が予算を管理。
	134		包括		×134名			(菓子代等)	
	300	40200	生活		40200				
「こども食堂 たまプラーざはん」の支援	地域の小中学生		地活	0	25000	0	0	25000	ボランティア団体が予算を管理。
	127		包括		年齢により				
	100～200	25000	生活		100～300円				
こどもへのまなざし 発達凸凹のあるこども達への支援を考える会	発達障がい親子・支援者		地活	0	0	0	0	0	0
	26		包括						
	0	0	生活						
おやこでリミック	未就学児の親子		地活	0	0	0	0	0	0
	205		包括						
	0	0	生活						
ソフリットカフェ	地域住民		地活	0	43800	0	0	43800	ボランティア団体が予算を管理。
	146		包括						
	300	43800	生活						
ブルーベルベツとみんなで歌おう!	地域住民		地活	0	0	0	0	0	0
	117		包括						
	0	0	生活						
リフレッシュ体操	地域住民		地活	60000	0	0	5000	0	0
	201		包括				×12回		
	0	60000	生活				60000		
レクリエーション体操教室	地域住民		地活	60000	0	0	5000	0	0
	155		包括				×12回		
	0	60000	生活				60000		
共食の会(男の大皿料理)	男性		地活	1000	3000×5名	0	0	18000	0
	20		包括		2000×1名				
	3000	18000	生活		17000				
おやこあそび場	未就学児の親子		地活	0	0	0	0	0	0
	6579		包括						
	0	0	生活						
たまプラーザ囲碁将棋の日	地域住民		地活	7740	0	0	0	0	7740
	147		包括						
	0	7740	生活						
たまプラーザde国際交流!	地域住民		地活	0	500	0	0	14000	0
	77		包括		×28名				
	3回目のみ500円	14000	生活		14000				

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **たまプラーザ地域ケアプラザ**

施設名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
おりがみボランティアの日	地域住民	3298	地活	3298	0	0	0	3298	0
	121		包括						
	0		生活						
乳幼児安全法	乳幼児養育者と支援者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	28		包括						
	0		生活						
子育て応援ぼらんていあ養成講座	地域住民	10000	地活	10000	0	0	10000	0	0
	19		包括						
	0		生活						
マインドフルネス～瞑想体験～	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	42		包括						
	0		生活						
夏休子どもワークショップ day	地域の小学生	6000	地活	0	300	0	0	6000	0
	21		包括		×10名				
	300		生活		3000				
あおばカノン2018	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	実行委員会にて管理
	830		包括						
	0		生活						
午後の音楽会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	53		包括						
	0		生活						
ニコニコピカピカ歯みがき教室	1歳までの親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	74		包括						
	0		生活						
付き添いボランティア講座	18歳以上の方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	16		包括						
	0		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
身体の事を学んで体操	介護予防を目的として、痛みの原因や負担軽減しながら身体を動かす体操を指導する。 椅子に座って行う運動を中心に、痛みの多い膝、腰、などに関して全体のバランスを見た痛みのメカニズムや原因、予防改善や痛みの軽減、負担の少ない運動方法を指導する。 ケアプラザで覚えて、自宅で継続出来る運動を指導し、自発的な運動促進を進めていく。	2期（前期/後期） 3回/前期 3回/後期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「たまコネ食堂部」の支援	一人暮らしの高齢者の孤食を防止するために、地域のボランティアが中心となって夕食作りを行い、沢山の人間と会話をしながら食事を楽しんでいただく。	6回/年 (12回/年開催、今年度7回目から自主活動化)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昭和・平成の歌謡	地域の多世代の方が気軽に外出して集える場作りとして開催。 歌謡曲を中心に、来館者のリクエストに応じて、講師が伴奏・進行を行う。	5回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラぶらじゃん雀	中途障がい等が原因となり、外出の機会が少ない方の引きこもり防止のため、麻雀をツールに仲間作りと外出機会を増やす目的で開催。 地域のボランティアの方々の協力の下で運営。	22回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
運動初心者トライコース	高齢者を対象とした介護予防体操であり、障がいをお持ちの方も運動や仲間作りのきっかけを作っていただく。講師の指導による45分の短い時間内で、ゆっくりとした体操を行う。	2期（前期・後期） 6回/前期 6回/後期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和み語り	NPO語り手たちの会よこはまメンバーによる大人のためのお話し会。語りに見位を傾け、静かな時間を過ごし、心豊かに安心して過ごせる時間を提供する。集団が苦手な方や視覚障がいなど、閉じこもりがちな方への外出のきっかけ作りの場として気軽に参加していただく。	4回/年（季節毎）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃのひろば@たまプラーザ地域ケアプラザ	発達の心配のあるお子さん、障がい児やそのご家族が安心して過ごすことができる場と時間の提供。仲間作りの場でもある。あおばおもちゃのひろばスタッフが持参するおもちゃで自由に遊ぶことができる。	12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで歌を歌う会「たんぽぽ」	地域ニーズの高い「歌を歌う会」を、どなたでも気軽に参加して頂くことができる多世代交流の場として、心のリフレッシュや外出のきっかけ作りの場として開催。リクエスト方式により、伴奏者と歌のリードにより行う。また、前回のアンケートに書かれたリクエストを元にした伴奏者や歌のリードの方による演奏もある。	4回/年（季節毎）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症カフェ 「プラぶらっと カフェ」	地域の中で認知症や集う場を持たず引きこもりがちな方など誰もが集える場の提供。外出機会を持ってもらい、廃用性機能低下を予防する狙い。 地域のボランティアの方々の活躍の場の提供でもある。 ケアプラザの専門職も関わり、介護予防での支援も継続的に行う。協力医の相談コーナーや講話、体操、歌を歌ったり、調理室で作った手作りおやつを食べながら歓談、トランプ大会等を行う。	12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夜のリラック ス ヨガ	前期は20歳以上の女性を対象に、後期は障がいをお持ちの方でも参加できるように対象を変更。仕事帰りや夜間帯にお時間のある方、育児中で夫の帰宅後にお子さんを預けて参加できる方にケアプラザへ足を運んでいただくきっかけ作り。 ヨガインストラクターによるヨガの実技と講話。後期は椅子ヨガを取り入れて行った。	2期（前期・後期） 5回/前期 4回/後期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしごっこ	子育て中の母親の居場所作りと交流、仲間作りを目的に、親子のスキンシップの機会やわらべ歌などの伝承による文化的事業。 受講した参加者から次世代の担い手養成も行い、地域活動を行うきっかけ作りも担う。 おはなしごっこチームたまプラによる読み聞かせ、手遊び、わらべ歌等を行っている。	2期（前期・後期） 6回/前期 6回/後期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとおしゃべり会	地域に潜在的に存在する閉じこもりがちな方、精神疾患の方、他者との交流が苦手な方、相談したいけれどどうしたらよいか困惑している方等が、気軽に外出でき、安心して過ごすことができる場の提供。 専門機関（ほっとサロン青葉）の協力により、参加者が安心して相談できる場となっている。	4回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「たまプラーザがん哲学外来カフェ」の支援	がんと闘う患者、支える家族、遺族などが集まり、対話の中から安らげる時間を作り出す事を目的としている。参加者が自由に対話し、時には音楽を楽しんでいただくイベントを行っている。	4回/年 (5回目から自主活動化)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「子ども食堂たまプラごはん」の支援	子どもの貧困対策として、子どもの居場所作りとして、地域のボランティアと協力して進める事業。子育て世代、幼児、小学生、中学生、高校生と、誰でも夕食を食べに来れるスペースを作り、皆と一緒に夕食を食べて、遊ぶ。	5回/年 (6回目から自主活動化)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもへのまなざし 発達凸凹のある子どもたちへの支援を考える会	発達の遅れのあるお子さんを持つ保護者や支援者が、イライラしたり不安になった時に相談できる機関が身近にあることを周知する狙い。孤立を防ぐ目的と、仲間作りの期待もある。 NPO法人あではで神奈川の講師を迎えて行う。	4回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこでリトミック	地域ニーズの高い、子育て世代の親子が安心して参加することのできる事業。ケアプラザに来館していただくきっかけ作りと、保育園で行うリトミックを体験する機会とする。 認可保育園でリトミックを行う講師による実施。	3期 (春・夏・冬) 3回/春 3回/夏 3回/冬

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ソフリットカフェ	多世代交流を目的とした食事会。イタリア料理を中心にランチや音楽演奏を楽しみながら交流していただく。ボランティア団体ソフリットの活動紹介と地域デビューのきっかけ作りの場でもある。	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ブルーベルベットとみんなで歌おう	登録団体「ブルーベルベット」の福祉保健活動の場として、地域ニーズの高い歌を歌う会を開催。多世代交流の場、外出機会のきっかけ作りの場でもある。女声コーラスとプロの指揮者・音楽家によるみんなで歌を歌うコーナーと、コーラスを聴くコーナーに分かれて開催。	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リフレッシュ体操	体操とレクリエーションを通じ、身体を動かす楽しさを知っていただく。また、参加者同士が知り合い会話を楽しむ機会も持てるよう交流会も行い、呼び寄せ介護等、地縁の無い方の仲間作りのきっかけとなるよう支持する。運動前後の準備体操を大切に考え、毎回重点的に動かすテーマを設けて、楽しく身体を動かし、最後は円になって交流会を行う。	2期（前期・後期） 6回/前期 6回/後期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レクリエーション体操教室	地域の支援者を対象に、簡単にできるレクリエーションをコミュニケーションツールとして学び、地域で活動する方々が顔の見える関係となるような場とすることを目的とした。徐々に「リフレッシュ体操」と同内容となった。	2期（前期・後期） 6回/前期 6回/後期

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
共食の会（男の大皿料理教室）	男性に調理の技術、楽しさを知ってもらい、大皿から料理を取り分けることでコミュニケーションの手段とし、地域のボランティア活動につながるよう支援する。 管理栄養士の講師により、簡単で楽しく、興味を持って調理できる献立を考えてもらい、一人一人が全ての工程を体験、共に食卓を囲む。	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこあそび場	子どもを安全な環境で遊ばせられる場の提供。定期的に、地域のボランティアの方々による様々なイベントを行いながら、育児不安や疑問の解消、仲間作り・居場所作りの場とする。 利用できる月齢を午前と午後で区切り、安全を確保する。	101回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁将棋の会	囲碁・将棋を通じて、世代を超えた参加者同士が交流できる場の提供。仲間作り、外出のきっかけ作りなど、ケアプラザに気軽に来館してもらおう。 地域のボランティアの方々を世話役として、参加者のコーディネートを行っていただき、高段位者には、初心者を含む参加者の育成を依頼し、交流を図る。	12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たまプラーザde国際交流！	互いの違いを楽しみ、異なる文化を学び合う国際交流の場、参加者同士の仲間作りや様々な国の人と気軽に交わる居場所作り。 ASEEJの協力により、セネガル文化、アフリカの遊牧民、郷土料理による交流。	3回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おりがみボランティアの日	音楽と体操を苦手とする方の外出機会と居場所作り。世代を超えた交流の場としても気軽に参加を促す。	10回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者同士の横の繋がりを作ること、意見交換をすることによって負担軽減を図ることを目的として開催。介護に対しての思いの共有の場を設け、専門職からのアドバイスを実施。	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉講座	制度理解を深めることを目的に、高齢になって在宅で生活を送る為にはどのようなサービス、制度があるのかを専門職から説明し意見交換を実施。介護保険制度を中心に講座を開催。	6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
乳幼児安全法	昨年開催時にニーズの高かった乳幼児の安全、減災を主眼とし、家庭内や地域で発生する事故に関する救護法を短期講習で学び、子育て世代が南進して生活することを目的とする。 日常生活での危険、事故時の蘇生法等を子どもダミー人形やAEDを使用した実技を中心に行う。	1回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て応援ぼら んていあ養成講 座	子育て中のお母さん達が、気軽にケアプラザの事業に参加して仲間作りやリフレッシュできるよう、お子さんを保育するボランティアを養成する。 活動の上で必要な見守り方、救護法などを学び、ケアプラザ事業や「おやこあそび場」での活動に繋げる。	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
瞑想体験～マイ ンドフルネス瞑 想～	ストレス社会に生きるサラリーマンを対象に想定して、心身をリラックスさせ集中力を高めるマインドフルネス瞑想体験を行い、男性向けヨガやストレッチなどの講座開催へのニーズに応える。 メガロス市ヶ尾店（「どにち★ひろば」）の協力の下、ストレッチや自律訓練法を取り入れた体験を行う。	4回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休こどもワー クショップday	小学生や未就学児とその養育者にケアプラザを周知し、多世代が交流する活動の機会とする。また、登録団体の福祉保健活動の場とし、ケアプラザ祭りで関わってきた地域の障がい者団体との関係を構築する。 くるみボタンの髪ゴム・ボンボンマスコット作り・「田園工芸」との新しい関係作りとして利用者を講師に迎えたパンキンリング作り。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポー ター養成講座	認知症に対する理解を深め、認知症の方が安心して暮らし続けられるよう、認知症サポーターを増やす事を目的として開催。普及啓発用DVDの上映とテキストを使つての講話を実施。	3回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「わたしノート」書き方講座	青葉区版エンディングノート「わたしノート」が完成し、ノートをきっかけにこれからの生活の見直しを行う事を目的として講座を開催。専門職による講話と質疑応答を実施。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおばカノン 2018	青葉区内にある福祉保健施設（地域ケアプラザ等）と青葉区民文化センター フィリアホールが主となって開催する自然災害復興支援チャリティイベント。本事業に関わる団体・個人は基本的に無償で協働し、主に青葉区民を対象にコンサート、物品販売の模擬店を催し、会場を訪れる参加者に楽しんでいただける機会を提供するとともに会場内における募金活動を行う。本事業で集まった募金額については、自然災害の被害に遭われた現地への支援金として日本赤十字社を通じて寄付を行った。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
午後の音楽会	地域の皆様を対象に、子育て世代や後期高齢者、障がいをお持ちの方等に気軽に安心してケアプラザでの音楽を楽しんでいただきながら、心のリフレッシュ効果、外出のきっかけ作り、多世代交流の場、福祉保健活動の拠点としての役割を伝える。 地域で活動されている音楽家の方による演奏会。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニコニコピカピカ歯みがき講座	歯がはえたばかりのお子さん～1歳までのお子さんと保護者向けの、歯が生え始めのケアについて学んでいただく。保健所職員による歯みがき指導、口腔内顕微鏡観察等。	1回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
付き添いボランティア講座	青葉区社協との共催により、ガイドボランティアを始めるための知識、心構えを学び、登下校の付添ニーズに応え、地域デビューを目指す。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数